

ニ上ナタリ來る市ハ布債利子支拂ニ以テトシ更ニ石炭ヲ半ヘトンク予算ノ狂
ニノ者メ莫ノ穴埋フ各々ノ陣庄ヘトナシ、アレ先程萬石製ヘン井干ノ人
ソシ申シ如ク肇家宣旨ノ擇庄セス又憲シニ今般此ノ余会ニサヘ為十名ノ出張テア
ル者々ノ肇家宣旨ノ擇庄セス又レシテ車人ナイカ内務大臣更ニ其ノ上若櫻正ニ甚レ
等、悔テアレ全般アルケトアリ一ニ付モテハ重最ニ斗争ンタイト思ラモ々ハ
代々少數ノ余合ニサヘソレ以テ多數肇家宣旨ヲ供ラ事ヲ氏政完政有ミ大キア
乗管チアレ事ヲ半一タイ更ニ此ノ余合ニ肇家宣旨ニ付シテハ三叶子以上、運勤ニ列シ
平吉ヲ支給スレ事トナツテ居ルカ本署ニ於テハ更ニ多數ノ肇家宣旨ヲ御奉ニ使、用久ル為メト務
江備ヘラル私々ハ斯シニカラクテ（注急）カラシタカラクリオヘカラ（中止）

一 要
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
廿十
廿十一
廿十二
廿十三
廿十四
廿十五
廿十六
廿十七
廿十八
廿十九
廿二十
廿廿一
廿廿二
廿廿三
廿廿四
廿廿五
廿廿六
廿廿七
廿廿八
廿廿九
廿廿十
廿廿十一
廿廿十二
廿廿十三
廿廿十四
廿廿十五
廿廿十六
廿廿十七
廿廿十八
廿廿十九
廿廿二十
廿廿廿一
廿廿廿二
廿廿廿三
廿廿廿四
廿廿廿五
廿廿廿六
廿廿廿七
廿廿廿八
廿廿廿九
廿廿廿十
廿廿廿十一
廿廿廿十二
廿廿廿十三
廿廿廿十四
廿廿廿十五
廿廿廿十六
廿廿廿十七
廿廿廿十八
廿廿廿十九
廿廿廿二十
廿廿廿廿一
廿廿廿廿二
廿廿廿廿三
廿廿廿廿四
廿廿廿廿五
廿廿廿廿六
廿廿廿廿七
廿廿廿廿八
廿廿廿廿九
廿廿廿廿十
廿廿廿廿十一
廿廿廿廿十二
廿廿廿廿十三
廿廿廿廿十四
廿廿廿廿十五
廿廿廿廿十六
廿廿廿廿十七
廿廿廿廿十八
廿廿廿廿十九
廿廿廿廿二十
廿廿廿廿廿一
廿廿廿廿廿二
廿廿廿廿廿三
廿廿廿廿廿四
廿廿廿廿廿五
廿廿廿廿廿六
廿廿廿廿廿七
廿廿廿廿廿八
廿廿廿廿廿九
廿廿廿廿廿十
廿廿廿廿廿十一
廿廿廿廿廿十二
廿廿廿廿廿十三
廿廿廿廿廿十四
廿廿廿廿廿十五
廿廿廿廿廿十六
廿廿廿廿廿十七
廿廿廿廿廿十八
廿廿廿廿廿十九
廿廿廿廿廿二十
廿廿廿廿廿廿一
廿廿廿廿廿廿二
廿廿廿廿廿廿三
廿廿廿廿廿廿四
廿廿廿廿廿廿五
廿廿廿廿廿廿六
廿廿廿廿廿廿七
廿廿廿廿廿廿八
廿廿廿廿廿廿九
廿廿廿廿廿廿十
廿廿廿廿廿廿十一
廿廿廿廿廿廿十二
廿廿廿廿廿廿十三
廿廿廿廿廿廿十四
廿廿廿廿廿廿十五
廿廿廿廿廿廿廿六
廿廿廿廿廿廿廿七
廿廿廿廿廿廿廿八
廿廿廿廿廿廿廿九
廿廿廿廿廿廿廿十
廿廿廿廿廿廿廿廿十一
廿廿廿廿廿廿廿廿十二
廿廿廿廿廿廿廿十三
廿廿廿廿廿廿廿十四
廿廿廿廿廿廿廿廿十五
廿廿廿廿廿廿廿廿廿六
廿廿廿廿廿廿廿廿廿七
廿廿廿廿廿廿廿廿廿八
廿廿廿廿廿廿廿廿廿九
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十一
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十二
廿廿廿廿廿廿廿廿十三
廿廿廿廿廿廿廿廿十四
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十五
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿六
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿七
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿八
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿九
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿十
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿十一
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿十二
廿廿廿廿廿廿廿..

群丸山

要
水吉

我等ハ全電力支那事業員ノ希望ニ依リ左ノ諸項目ニワシテ要求書ヲ提出ス
而當謀ノ上御回答ヲランコトヲ希望シテス

要項目

- 一 増歩幅度ヲ從前逾リテラレ度
- 二 三十人以下ノ本給トセラレ度
- 三 定員減少ヲ極めシ其ノ弱ノ轉勤ヲ取リメラレ度
- 四 脳病患者ヲ公傷被トセラレ度
- 五 瞳障瘡員ヲ即時本採用トセラレ度
- 六 陰陽者ヲ即時復職マニメラレ度
- 七 二十年紀念祭ニ休暇參ニ假交洽セラレク
- 八 百万打板費会ニ手當ヲ支給セラレク
- 九 変電料ニ於テ主住産制ヲ即時撤度セラレク
- 十 衛生保健設備ヲ即時設備セラレク
- 11 薩摩ト毛布ヲ年一回支給セラレク
- 12 紗布ヲ一人一枚定額支給セラレク
- 13 ベラフノ变電所ノ經費見三手當ヲ支給セラレク
- 14 变電器ノ修理費ヲオイシ冷却ニサレク
- 15 運動場ト莫ニ設備ヲ整ヘラレク